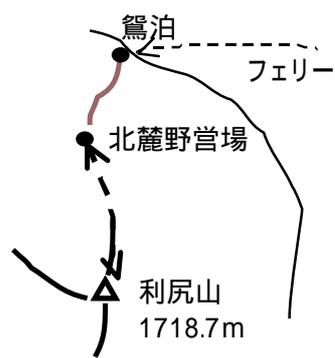


8 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	渡辺勝利	参加 メンバー	L 渡辺勝利 育子
		報告日	09 / 03		
山 域	北海道 利尻島	山行日	06 年 08 月 13 日(日)		
山 名	利尻山(1718.7m)				
山行目的	北海道の未知の山探訪(1)		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会:12
山行:1
リーダー-
原紙:集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 鴛泊

曇り後晴 午後一時雨 03:30 起床	09:10 9 合目(沓形分岐) ~ 20
04:30 北麓野営場発	09:40 利尻山 山頂 ~ 20
05:00 4 合目	10:50 9 合目
05:30 5 合目 ~ 40	11:20 避難小屋
06:00 6 合目	11:33 長官山通過
06:20 7 合目 ~ 30	12:20 7 合目
07:00 8 合目	13:50 4 合目
07:30 長官山通過	14:30 北麓野営場着
07:40 避難小屋 ~ 55	

山行報告 前日の最終フェリーで稚内から憧れの利尻島に上陸。フェリーターミナル前の食堂では「お客さん、ご飯がないので今から炊きますが・・・」の一声に 1 時間の待ち時間が惜しい我々は隣の店に移るといふハプニングがあり、お陰で同じ運命の京都の S 夫妻とはその後の 2 日間を親しくしてもらおうというおまけ付きの楽しい山行となった。北麓野営場まではタクシーで 10 分程度(1,200 円)で着き、一等地を選んでテントを張り明日の登山に備えて早目に就寝。明くれば 13 日。やや曇り空ではあるがまずまずの日和の中、勇躍出発。まず樹林帯の中をゆっくりペースでしかし確実に高度を稼いでいく。途中の樹林の切れ間から鴛泊の港が望まれ、時々吹き抜ける涼風が心地良い。長官山を過ぎ、立派な避難小屋に感心しつつ 9 合目の沓形分岐に着く。沓形への下山ルートはかなり切り立っており、崩壊も激しく下山には不向きなルートのようなだ。さて登りのルートは「ここからが正念場」と記された看板どおり、急な「ざれ場」となってくる。まるで富士山でルートを外れた時のようなざれ状態の歩きにくいルートを靴底の磨耗を心配しながらひたすら登る。いい加減登ったところに 9.5 合の標識。さらに一稼ぎで頂上に至り、念願の登頂に固い握手で喜びを分かち合うことが

できた。折りよく視界も開けてきて、頂上からは南峰方面(現在は通行禁止)も望むことができ、しばらく周囲の眺望を楽しんだ後、人込みで結構賑やかな山頂から下山を開始する。9 合目までのざれ場は下りもいやらしく、慎重に下る。途中ではにわか雨に会いながらも、登頂の余韻に浸りながら水場の「甘露泉」で一息ついた後、北麓野営場に帰着した。

リーダー所見 念願の利尻山への登頂が実現し大満足な山行となった。ご他間にもれず、ここも中高年登山者で大賑わいであるが、9 合目から上部は急なざれ場の連続で崩壊も進んでいる。こんなルートを足元もおぼつかない中高年登山者ががどンドン登ってくることに遭難の危惧を抱く。自分も中高年者の一人として今後も自戒した行動を取りたいと思う。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



利尻山北峰頂上から南峰方面

確認
(リーダー)
作成
(報告者)

